



学校法人今治精華学園 SDGs宣言

当学園は、「学問を通して、自己の人格と尊厳を保ち、何事も自分の判断と責任のもとで行い、独立心と自尊心を養ってほしいという願いを込めた【独立自尊】」という校訓のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年6月2日

学校法人今治精華学園

理事長 森 一男



重点項目(ターゲット2030)

個性を尊重した教育の実践

学校教育を通して、生徒自ら学ぶ力や創造力を養い、健全でたくましい人間に育成します。また、一人一人の個性を尊重し特性を伸ばすことで将来の進路に役立つ教育を進めます。

【主な取り組み】

幼稚園・高等学校(全日制普通科、調理科)・高等学校通信制課程運営、個別指導・グループ指導の実践、個人の特性に応じた教育



従業員が活躍できる職場づくり

従業員一人ひとりが主人公であり、個々の能力やライフスタイルを尊重し、個性を最大限活かせる職場環境作りを目指します。また、従業員の健康維持・増進に努め、従業員エンゲージメントを高めます。

【主な取り組み】

短時間勤務制度導入、研修参加費用補助・資格取得費用補助、就業規則へのハラスメント禁止条項の記載



地域貢献への取り組み

教育事業者として、地域の維持・発展に貢献できる人材育成に取り組めます。また地域に根差した事業活動を行い、地域再生・活性化・発展に繋げ持続可能な社会を実現します。

【主な取り組み】

校外ボランティア清掃の実施、子どもエコまつりの実施、災害時義援金活動の実施、インターハイ特別基金の実施等



環境教育の実践

環境教育により、生徒が自然と触れ合う機会を増やし自然環境の大切さを伝えます。また、身近にできる省エネ・省資源・リサイクルなどに取り組み、環境に配慮した事業活動を行います。

【主な取り組み】

ハイブリット自動車の導入、完全LED化、節水の励行、二酸化炭素排出量・電気使用量確認機器の導入、ごみの分別等



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。